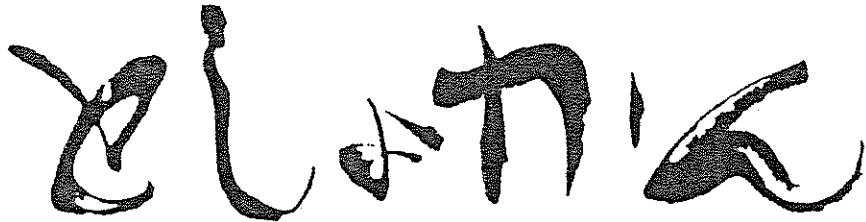


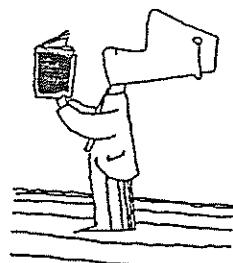
宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町 7 番 57 号 〒320 TEL 36-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町 2137 番地 〒321 TEL 38-5614

秋をいろいろ……読書



厳しい暑さも一段落。いよいよ読書シーズンの到来です。夏の疲れを癒すべく読書を楽しもうではあります。そこで今回のテーマは「読書と文学」。予約の本を首を長くして待っている方、読みたい本の見つけられない方、もつとも本を読んだ本ばかり!!でも、少しだけ文学の方、必見です。えつ！もう読んない方、必見です。えつ！もう読んだ本ばかり!!でも、少しだけ文学散歩にお付合い下さい。

1F 「文学ウォッチング」

日光山、宇都宮停車馬（ステエシヨン）、伝馬町。作品の冒頭に郷土の地名が出てきます。

伝馬町に千束屋という旅籠屋は此土地に第一と知られています。何という作品かわかりますか。わかった方は立派。宇都宮の街も文学に登場するところによく変わった感じで楽しめるかもしれません。答えは展示ケースで。

2F 「名作いろいろ」

児童図書室には絵本しかないのではないかと思つてゐる方、多いのでは。以外や以外、あふれるばかりの名作の数々。秋の夜、眠りにつく前

図書館を10倍楽しむ方法

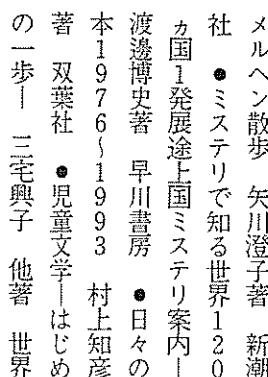
トーマ「読書と文学」

の子どもたちと物語を楽しんでみてはいかがでしょうか。今回は全集を展示しますが、単行本もあります。・少年少女世界の名作文学全50巻（小学館）古典編、イギリス編、アメリカ編、フランス編と世界のお話が勢ぞろい。グリム童話（ドイツ）やアンデルセン童話（北欧編）、日本のお話ももちろんあります。他に・世界の名作

南欧編1「ピノッキオ」

3F 「私の読書案内」

○僕の選んだ105冊 森毅著
○快食・快便・快読 森毅著
○本の椅子 紀田順一郎著
○三一書房 読書人の本
○本と様々な本との出会いがあります。また、宇都宮市立図書館のベストリーダーもあわせて紹介します。



「そうじう、きみはまだれだい」「ピノッキオは、ふのてながら尋ねました。

「あわれにも、きみといつしょにさめにのみこまれたまぐろだよ。泣きべそのきみは、なんていうさかなだらう。」「ほくはさかなではないよ。あやつり人形だよ。」

●本・わが遍路 鈴木実著 いちい書房 ●忘却の女神 高橋英夫著 弥生書房 ●読書遊記 向井敏著 講談社 ●本・わが遍路 鈴木実著 いちい書房 ●本の中の世界 湯川秀樹著 講談社 ●わたしのメルヘン散歩 矢川澄子著 新潮社 ●ベストミステリー10年 北上次郎著 晶文社 ●書評10年 鶴見俊輔著 潮出版社 ●読書目録 著 潮出版社 ●本・子ども・大人 ポール・アーシーの本の話 江藤淳著 新潮社 ●鶴見俊輔著 潮出版社 ●なつかしい本の話 江藤淳著 新潮社 ●わたしの絵本体験 松田道雄著 築摩書房 ●わたしの絵本体験 松居友著 大和書房 ●子どもの本を読む 河合隼雄著 光村図書 ●忘れられない本 朝日新聞社編他

渡邊博史著 早川書房 ●日々の本 1976-1993 村上知彦著 双葉社 ●児童文学――はじめの一歩 三宅興子 他著 世界の一步

展示は市立図書館1~3階ロビーエントランス内、平成7年1月3日まで。貸出もできます。

障害者サービス その3

前回は、「対面朗読」について説明をしました。対面朗読が、視覚障害者が公共図書館の豊富な活字資料をより効果的に利用する最も有効な手段であることがご理解いただけたと思います。

一般の方たちと同様、文字離れがかなり進んでいます。最も大きな理由の一つとして、点字で得られる情報量が一般の方たちと比較して格段に少なく、加えて点訳作業に大変時間がかかるという問題があります。

これまでの点訳は、1点直接凹凸をつけ、文字を作るため、途中に誤りがあるとその用紙全部を打ち直すこととなり、時間的に大変ムダが多く非能率的でした。点字パソコンによる効率的な点字図書資料の作成

最近、技術の発展によりパソコンによる点訳図書資料の作成が可能になりました。パソコンを使用して、まず、電子データを作成し、それをプリントアウトし、点字図書として製本作業をして図書資料とします。途中に誤りがある場合でも、その部分だけを修正することができるので大変効率的に作業

を進めることができます。また、

パソコンにより作成した図書資料の場合、点字が磨滅して読みにくくなつた図書についても、プリンターで素早く複製出来、しかも一度に複数部作成することができます。

当館でも現在、ボランティアにより、従来の点訳作業の方法に加え、パソコンを使用して点字図書資料を作成しています。これにより点字図書の作成が円滑になり、従来から比較すると効率的に情報提供を行うことができつつあります。

しかし、点字図書資料の作成過程では校正作業が重要で、時間のかかる作業ですが、校正作業を行なうかが今後の大きな課題です。

視覚障害者の情報環境を整えるには、数多くの問題を抱えています。また、障害者サービスを充実させていくうえで、点訳・音訳に対する専門的な技術を持ついるボランティアの方々の協力が不可欠です。当館としては、一つ一つの問題に積極的に取り組み、また利用者の声に耳を傾け、一人でも多くの利用者に喜ばれる障害者サービスの実現に努めています。

郷土資料コーナー

秋の栃木路

実りの秋・食欲の秋は旅行のシーズンでもあります。

近すぎて、かえつて見落としがちな県内情報ですが、これから計画に参考にしてみたい本をご紹介します。

特色がないと言われている栃木県ですが、まだまだ魅力ある場合がたくさんありますよ。



「県別マップル情報版 栃木」

昭文社 編・発行

サブタイトルに「家族旅行の強い味方・栃木版お出かけ大百科」

とあるように、県内を隅々まで歩き回るための情報誌です。各市町村ごとに、食事・宿泊・土産・遊びが紹介されている、実用向の一冊です。

他県からのお客様を案内するときにも、役立つのではないでしょうか。

「キャンピングガイド 94~95」

下野新聞社 編・発行

「北関東アウトドア情報」とい



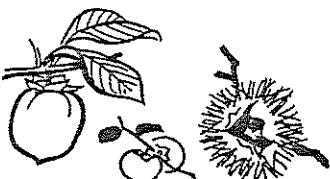
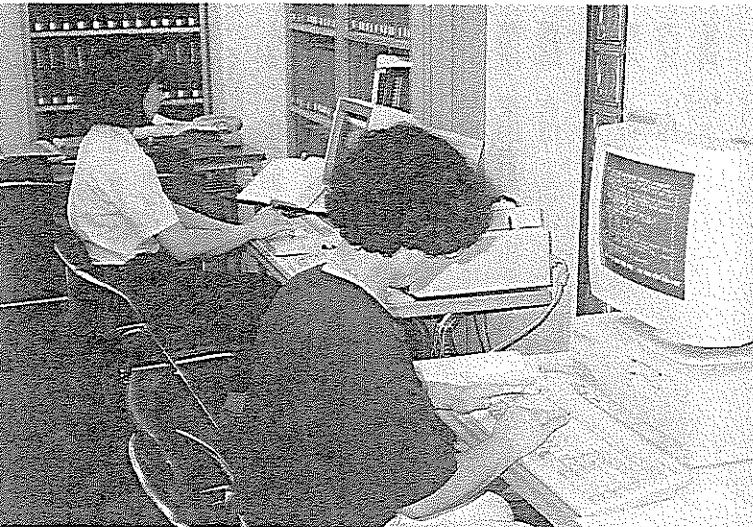
うこの本は、下野・茨城・上毛の三新聞社が、それぞれ地元ならではの情報を持ち寄って作ったものです。

キャンプだけではない、様々なアウトドア関係の最新情報がぎっしりと盛り込まれています。

館・郷土資料館・水族館・植物園など100館近くが取り上げられています。

各館ごとに、簡単な紹介と開館時間や休館日の案内、駐車場や各種の設備施設の有無が掲載されています。

いる、ユニークなガイドブックです。



こちらのサブタイトルは「身近な知的プレイゾーン」です。県内の博物館はもちろん、美術

